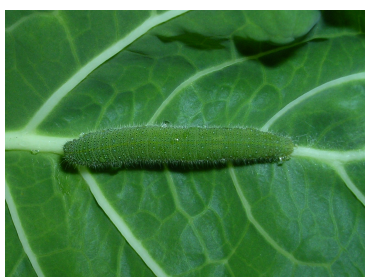


モンシロチョウ

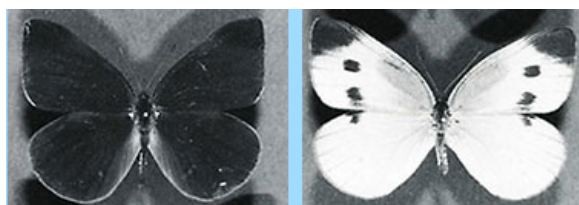
恒例行事の澄川森林のゴミ出し作業午後の部に向かう澄川駐車場広場のタンポポの花でモンシロチョウが吸蜜していました。撮影日時は2016年5月17日12時44分と記録されました。この場所での初見は5月10日でしたが、カメラで撮ることができませんでした。

モンシロチョウはきわめてポピュラーな蝶なのです。幼虫はアオムシとして知られ、キャベツやダイコン等の作物の害虫として嫌われていましたが、少年時代に飼育していたニワトリや



ヒバリの雛等の餌としては役に立つ存在でした。分布的にはほぼ日本全土に及びます。地球規模では温帯地域から亜寒帯までに広く分布しているとのこと、すこぶる逞しい蝶なのです。童謡で「チョウチョ、チョウチョ菜の花にとまれ、菜の花に飽いたらサクラにとまれ……」と謡われたチョウチョはモンシロチョウに違いないと子供の頃から信じています。この蝶を見たことがない日本人はまずいないと信じる次第であります。

モンシロチョウの目で仲間を見た場合、われわれ人間が見ている状態とは違うという事例が紹介されていました。紫外線カメラで撮影したこの蝶の雄と雌の違いをご覧ください。左黒い方が雄、右の白いのが雌です。かねがね思っていることですが、カラスにしても人間には雌雄の区別は見た目には出来ませんが、カラスの目にははっきりと区別できる何らかの仕掛けになっていると思うのです。



モンシロチョウの目には、左のオスは黒く見えて、右のメスは白く見えます。この写真は紫外線(しかいせん)が写るカメラで撮影(さつえい)しました。

札幌市澄川都市環境林は約60㌥あまりの面積で澄川南→滝野にいたる森林の尾根沿い道路に1,700㌥も面しています。郊外なので人目も少なく、車からのポイ捨て飲料ボトルや缶、そして



夜逃げでもしたかのような家財道具の数々、また廃業者による悪質なまとまった量の医療廃棄物やタイヤ等々の不法投棄ゴミが大量に道路ぎわの藪に捨てられています。筆者の個人感覚ではこの仕事は一番きついです。人間不信に陥ってしまうのです。おまけに藪に分け入るのでダニに食いつかれる災難にも遭うのです。いつの日か、この行事が不要になることを祈ります。